

## **第65期 中間期 事業のご報告**

平成26年 4月 1日から平成26年 9月30日まで



証券コード 5974



株主のみなさまには、ますますご清栄のことと拝察申し上げます。  
平素は、当社グループの事業運営につきまして格別のご支援、ご協力を賜り厚く御礼申し上げます。  
当社グループの第65期中間期の事業の概況および業績についてご報告申し上げます。

当中間連結会計期間におけるわが国経済は、政府による積極的な経済政策により円安・株高傾向が続き、企業業績の回復や雇用情勢の改善など明るい兆しが見られたものの、一方で円安による原材料と原油価格の上昇に加え、消費増税による特需の反動、夏場の異常気象や度重なる自然災害の影響等により、景気の先行きは不透明な状況が続いております。

一方、当社グループを取り巻くガス事業分野も改正電気事業法が成立し、2016年の電力小売の完全自由化が決定されたことを受け、急激に規制緩和の方向に進んでおり、業種の垣根を越えた業界再編に向けて変化が続いております。また、設備投資は、底堅く推移しているものの、足踏み状態となっており、いまだ力強さに欠ける状況となっております。

このような経済情勢のなか、当社グループはLPGガス容器の需要が増大したことや畜産分野の主力製品である飼料タンクの販売数量が増加したことにより、当中間期の連結売上高は50億87百万円（前年同期比3億6百万円増収）となりました。

利益につきましては、営業損失は1億14百万円（同59百万円赤字縮小）となりました。また、経常損失は97百万円（同70百万円赤字縮小）、当中間期純損失も1億18百万円（同76百万円赤字縮小）となりました。

このような状況のもと、当社グループは収益の確保に向け売上の拡大及び、あらゆるコストの削減に努めていく所存であります。

株主のみなさまには、今後ともより一層のご支援ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

代表取締役社長

のむら まこと  
**野村 實也**

## 営業の概要

### セグメント別の営業状況

#### 《高圧機器事業》



高圧ガス容器

LPガス容器及び一般高圧ガス容器の販売数量が増加したことにより、売上高、セグメント利益ともに前期から増加いたしました。

売上高	28億28百万円	(前年同期比 11.5%増)
セグメント利益	1億21百万円	(前年同期比 89百万円増)

#### 《鉄構輸送機事業》



作業用昇降設備

コンベヤ設備を主体とした搬送機器の受注が減少したことにより、売上高は減少しましたが、総コストの削減に努めました結果、セグメント利益は前期を上回りました。

売上高	3億10百万円	(前年同期比 12.5%減)
セグメント利益	16百万円	(前年同期比 10百万円増)

#### 《施設機器事業》



簡易飼料中継基地

畜産分野の主力製品である飼料タンクの販売数量が増加したことにより、売上高は前期を上回りました。また、セグメント損失は前期と比べ赤字縮小となりました。

売上高	5億43百万円	(前年同期比 20.5%増)
セグメント損失	27百万円	(前年同期比 5百万円赤字縮小)

#### 《運送事業》



引越トラック

国内貨物輸送量を中心に取扱物量が減少したことにより、売上高が前期を下回りました。

売上高減少に加え、燃料価格の高騰や高速道路料金の値上げによるコスト増などにより、セグメント利益も前期を下回りました。

売上高	14億 4百万円	(前年同期比 2.3%減)
セグメント利益	10百万円	(前年同期比 10百万円減)

### 主要営業品目

高圧機器事業	高圧ガス容器（LPガス及びその他の高圧ガス）、LPガスバルク貯槽、LPガス貯槽、その他の高圧ガス貯槽、その他の高圧ガス製造・消費プラント及び関連設備の製造販売
鉄構輸送機事業	搬送機器設備の設計施工、焼鈍炉用インナーカバー及びその他各種鉄構製品の製造販売
施設機器事業	飼料用タンク及びコンテナ、廃水処理装置、畜産機材、薬品タンク、脱臭装置及びその他各種FRP（強化プラスチック）製品の製造販売
運送事業	一般区域貨物運送業、引越業、倉庫業



LPガスストレージタンク



遊具搬送機

# 連結財務諸表

## 中間連結貸借対照表（要旨）

（単位：千円）

科 目	前期末 平成26年3月31日	当中間期末 平成26年9月30日
<b>資産の部</b>		
<b>流動資産</b>	<b>5,375,208</b>	<b>4,704,384</b>
現金及び預金	906,258	708,995
売掛債権	3,465,369	2,759,264
たな卸資産	898,689	1,118,194
その他	104,890	117,929
<b>固定資産</b>	<b>4,466,139</b>	<b>4,742,956</b>
<b>有形固定資産</b>	<b>3,215,579</b>	<b>3,258,114</b>
建物及び構築物	547,403	588,362
土地	2,207,049	2,207,049
その他	461,125	462,700
<b>無形固定資産</b>	<b>37,843</b>	<b>36,968</b>
<b>投資その他の資産</b>	<b>1,212,717</b>	<b>1,447,873</b>
投資有価証券	1,091,830	1,331,294
その他	120,886	116,579
<b>資産合計</b>	<b>9,841,347</b>	<b>9,447,340</b>

資産合計は、投資有価証券が時価の上昇により2億39百万円、たな卸資産が2億19百万円増加したものの、現金及び預金が1億97百万円、売掛債権が7億6百万円それぞれ減少し、前期末より3億94百万円（4.0%）減の94億47百万円となりました。

負債合計は、前受金が1億86百万円増加したものの、買掛債務が3億18百万円、借入金が2億69百万円、退職給付に係る負債が1億49百万円それぞれ減少した結果、前期末より4億80百万円（7.6%）減の58億79百万円となりました。

科 目	前期末 平成26年3月31日	当中間期末 平成26年9月30日
<b>負債の部</b>		
<b>流動負債</b>	<b>4,496,794</b>	<b>4,177,499</b>
買掛債務	2,003,160	1,684,722
短期借入金	1,902,829	1,653,995
前受金	112,285	298,775
その他	478,516	480,004
<b>固定負債</b>	<b>1,863,411</b>	<b>1,762,179</b>
長期借入金	376,434	355,896
退職給付に係る負債	1,116,813	967,754
その他	370,162	438,528
<b>負債合計</b>	<b>6,360,206</b>	<b>5,879,679</b>
<b>純資産の部</b>		
<b>株主資本</b>	<b>2,993,899</b>	<b>2,928,206</b>
資本金	1,710,000	1,710,000
資本剰余金	329,347	329,347
利益剰余金	1,035,307	969,636
自己株式	△ 80,755	△ 80,777
<b>その他の包括利益累計額</b>	<b>230,236</b>	<b>371,822</b>
<b>少数株主持分</b>	<b>257,006</b>	<b>267,632</b>
<b>純資産合計</b>	<b>3,481,141</b>	<b>3,567,661</b>
<b>負債純資産合計</b>	<b>9,841,347</b>	<b>9,447,340</b>

（注）記載金額は千円未満を切り捨てて表示しております。

純資産合計は、利益剰余金が65百万円減少したものの、その他有価証券評価差額金が1億41百万円増加した結果、前期末より86百万円（2.5%）増の35億67百万円となりました。

## 連結財務諸表

### 中間連結損益計算書（要旨）

（単位：千円）

科 目	前中間期	当中間期
	平成25年4月1日から 平成25年9月30日まで	平成26年4月1日から 平成26年9月30日まで
売上高	4,780,762	5,087,529
売上原価	3,972,343	4,121,352
売上総利益	808,418	966,176
販売費及び一般管理	982,624	1,080,561
営業損失（△）	△ 174,206	△ 114,385
営業外収益	25,102	33,277
営業外費用	19,243	16,321
経常損失（△）	△ 168,347	△ 97,429
特別利益	999	909
特別損失	4,052	665
税金等調整前中間純損失（△）	△ 171,399	△ 97,184
法人税、住民税及び事業税	15,533	17,872
法人税等調整額	1,748	579
少数株主利益	6,281	3,030
中間純損失（△）	△ 194,962	△ 118,667

（注）記載金額は千円未満を切り捨てて表示しております。

売上高は、前中間期に比べ3億6百万円増収の50億87百万円となりました。

LPガス容器の需要が増大したことや飼料タンクの販売数量が増加したことにより、営業損失は前中間期に比べ59百万円縮小し、1億14百万円となりました。  
経常損失につきましても前中間期に比べ70百万円縮小し、97百万円となりました。  
中間純損失につきましても前年同期に比べ76百万円縮小し、1億18百万円となりました。

### 連結キャッシュフロー計算書

（単位：百万円）

	前中間期	当中間期
	平成25年4月1日から 平成25年9月30日まで	平成26年4月1日から 平成26年9月30日まで
営業活動によるキャッシュフロー	141	211
投資活動によるキャッシュフロー	91	△ 54
財務活動によるキャッシュフロー	△ 210	△ 313
現金及び現金同等物の増加額	21	△ 156
現金及び現金同等物の期首残高	417	486
現金及び現金同等物の中間期末残高	438	330

（注）記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

#### 《当中間期のキャッシュフローの概要》

- ・営業活動によるキャッシュフローは、たな卸資産の増加等はあったものの、前受金の増加、売掛債権の回収が進んだこと等により、2億11百万円の収入となりました。
- ・投資活動によるキャッシュフローは、有形固定資産の取得により、54百万円の支出となりました。
- ・財務活動によるキャッシュフローは、主に借入金の返済により、3億13百万円の支出となりました。

以上の結果、当中間期末における現金及び現金同等物の残高は、期首残高に比べ1億56百万円（32.2%）減少し、3億30百万円となりました。

## 連結財務諸表

### 連結株主資本等変動計算書 (平成26年4月1日から平成26年9月30日まで)

(単位：千円)

	株主資本					その他の包括 利益累計額	少数株主持分	純資産合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計			
平成26年4月1日期首残高	1,710,000	329,347	1,111,803	△ 80,755	3,070,394	230,236	257,006	3,557,637
中間連結会計期間中の変動額								
剰余金の配当	—	—	△ 23,498	—	△ 23,498	—	—	△ 23,498
中間純損失 (△)	—	—	△ 118,667	—	△ 118,667	—	—	△ 118,667
自己株式の取得	—	—	—	△ 21	△ 21	—	—	△ 21
自己株式の処分	—	—	—	—	—	—	—	—
株主資本以外の項目の中間連結 会計期間中の変動額 (純額)	—	—	—	—	—	141,586	10,626	152,212
中間連結会計期間中の変動額合計	—	—	△ 142,166	△ 21	△ 142,188	141,586	10,626	10,024
平成26年9月30日残高	1,710,000	329,347	969,636	△ 80,777	2,928,206	371,822	267,632	3,567,661

(注) 記載金額は千円未満を切り捨てて表示しております。

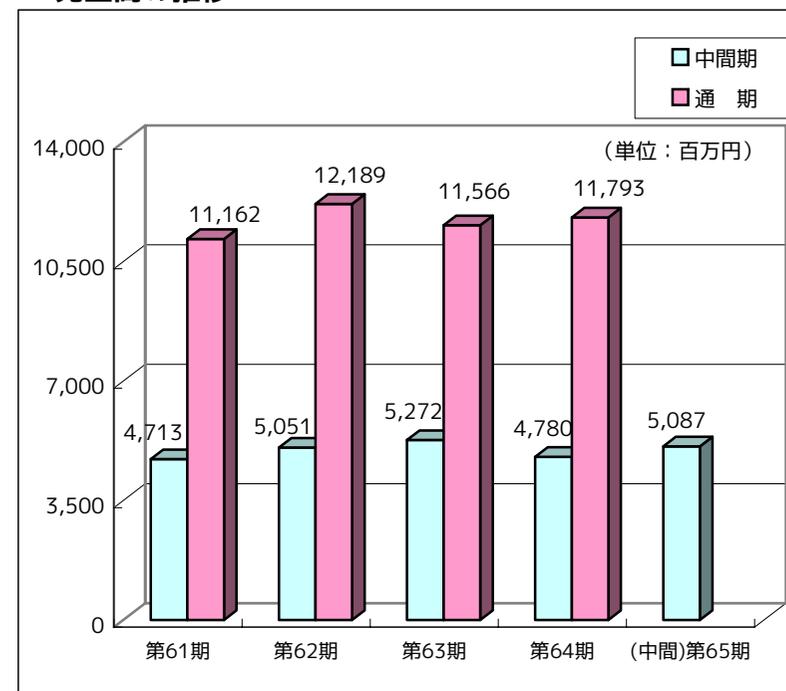
### 連結営業成績および財産の状況の推移

《中間期》	平成22年度 (第61期)	平成23年度 (第62期)	平成24年度 (第63期)	平成25年度 (第64期)	平成26年度 (第65期)
売上高 (百万円)	4,713	5,051	5,272	4,780	5,087
経常損失 (△) (百万円)	△ 294	△ 2	△ 139	△ 168	△ 97
中間純損失 (△) (百万円)	△ 290	△ 17	△ 163	△ 194	△ 118
1株当たりの中間純損失 (△) (円)	△ 8.56	△ 0.50	△ 4.82	△ 57.54	△ 35.03
純資産 (百万円)	4,010	3,128	3,156	3,192	3,567

《通 期》	平成22年度 (第61期)	平成23年度 (第62期)	平成24年度 (第63期)	平成25年度 (第64期)
売上高 (百万円)	11,162	12,189	11,566	11,793
経常利益 (△：損失) (百万円)	△ 51	299	△ 84	91
当期純利益 (△：損失) (百万円)	△ 1,176	239	△ 116	61
1株当たりの当期純利益 (△：損失) (円)	△ 34.71	7.07	△ 3.45	18.07
純資産 (百万円)	3,137	3,412	3,360	3,481

※平成25年10月1日付けで10株につき1株の割合で株式併合を行いました。平成25年度期首に当該株式併合が行われたと仮定し、平成25年度以降1株当たり中間純損失および1株当たり当期純利益を算定しております。

### 売上高の推移



## 株式の概況（平成26年9月30日現在）

### (1) 株式の総数

- ① 発行可能株式総数 8,000,000 株
- ② 発行済株式の総数 3,420,000 株

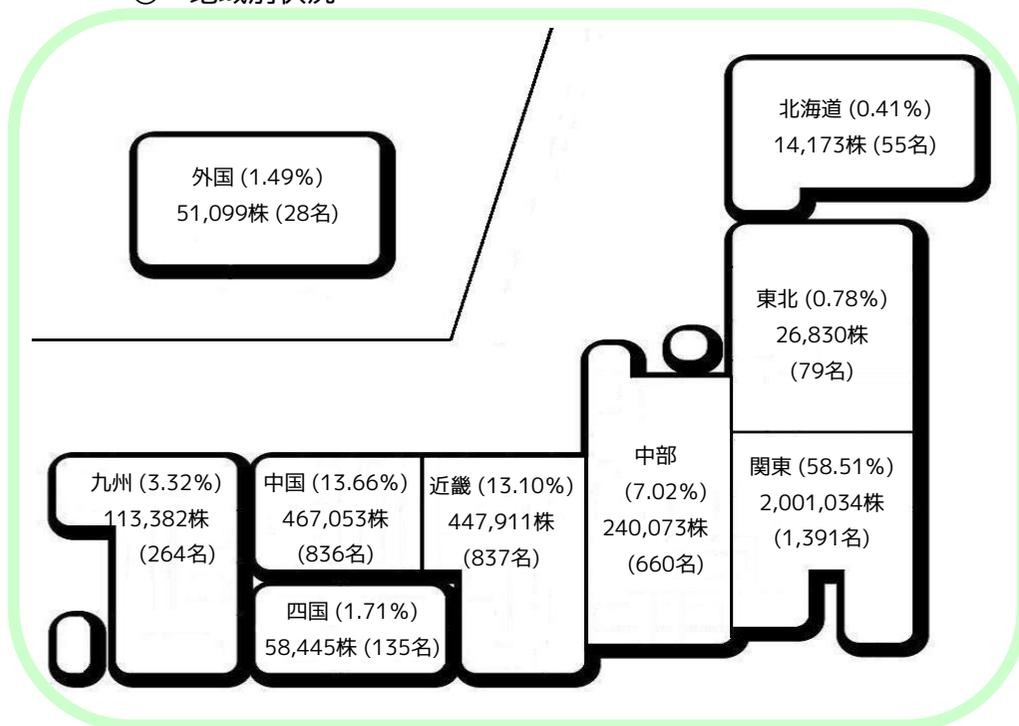
### (2) 株主数 4,285 名

### (3) 大株主（上位5名）

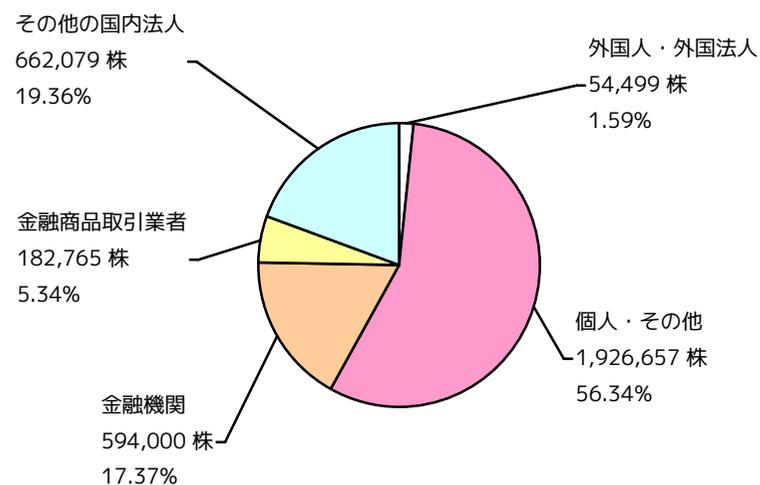
株主名	持株数	出資比率
日新製鋼株式会社	403 千株	11.80 %
株式会社広島銀行	110	3.21
株式会社宮入バルブ製作所	99	2.89
日本証券金融株式会社	90	2.63
河口 隆俊	79	2.32

### (4) 株式分布状況

#### ① 地域別状況



#### ② 所有者別状況



## 会社の概要（平成26年9月30日現在）

設立 昭和25年10月4日

資本金 17億1,000万円

従業員数 304名

登記上の本店 広島市中区小町2-26

### 《事業所》

本社事務所 ☎ 0823-72-1212  
広島県呉市広名田1-3-1

高圧機器工場 ☎ 0823-72-1215  
広島県呉市広名田1-3-1

鉄構輸送機部 ☎ 0823-72-1617  
広島県呉市広名田1-5-5

施設機器部 ☎ 0823-72-1615  
広島県呉市広名田1-5-5

営業推進部 ☎ 03-3256-4411  
東京都千代田区神田東松下町27

大阪支店 ☎ 06-6633-4801  
大阪市中央区日本橋1-17-17

富山営業所 ☎ 076-425-0410  
富山県富山市五番町4-10

東京支社 ☎ 03-3256-4411  
東京都千代田区神田東松下町27

広島支店 ☎ 082-247-0200  
広島市中区小町2-26

高松営業所 ☎ 087-833-6095  
香川県高松市中新町2-9

仙台支店 ☎ 022-223-7181  
仙台市青葉区本町2-10-28

福岡支店 ☎ 092-751-4528  
福岡市中央区天神2-8-49

鹿児島営業所 ☎ 099-254-5872  
鹿児島県鹿児島市鴨池新町5-6

名古屋支店 ☎ 052-962-1861  
名古屋市中区錦3-2-1

札幌営業所 ☎ 011-231-7221  
札幌市中央区北二条西4-1

帯広出張所 ☎ 0155-28-5042  
北海道帯広市東七条南14-1-13



## 役員（平成26年9月30日現在）

代表取締役社長 野村 實也

取締役 細川 光一

常務取締役 原田 宏昭

取締役 中村 博年

常勤監査役 山田 秀昭

常務取締役 肥後 裕一

取締役 児玉 康雄

監査役 旭 爪 勝

取締役 保岡 義昭

監査役 古居 正武

## 《グループ会社》

### 連結子会社（1社）

・中鋼運輸株式会社

### 非連結子会社（5社）

・高圧プラント検査株式会社

・第一興産有限会社

・有限会社エヌシーケー

・豊栄プレス有限会社

・三慶商事有限会社

## 株主メモ

事業年度	4月1日から翌年3月31日まで
期末配当金受領株主 確定日	3月31日
定時株主総会	毎年6月
株主名簿管理人 特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同連絡先	三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部 〒541-8502 大阪府中央区伏見町三丁目6番3号 ☎ 0120-094-777 (通話料無料)
上場証券取引所	東京証券取引所(一部)
公告の方法	電子公告 公告掲載URL <a href="http://www.ckk-chugoku.co.jp/koukoku/">http://www.ckk-chugoku.co.jp/koukoku/</a> (ただし、電子公告によることが出来ない事故、その他のやむを得ない事由が生じたときは、 広島市において発行する中国新聞に公告いたします。)
単元株式数	100株
証券コード	5974

### (ご注意)

1. 株主様の住所変更、買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関（証券会社等）で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。  
株主名簿管理人（三菱UFJ信託銀行）ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
2. 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、上記の特別口座の口座管理機関（三菱UFJ信託銀行）にお問合せください。  
なお、三菱UFJ信託銀行全国本支店にてもお取次ぎいたします。
3. 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行全国本支店でお支払いいたします。



〒737-0192 広島県呉市広名田1-3-1

<http://www.ckk-chugoku.co.jp/>